

環境建築研究所



所長 大石 洋之（建築学部 建築学科 准教授）

気候変動による気象への影響が顕在化してきている現在、2050年のゼロカーボン社会を見据えた建築分野からの貢献が必須と考えられる。

本研究所では、ゼロカーボン化に向けた建築関連の社会動向の調査をはじめとして、各種要素技術の評価、および建築物に実装するため設計技術支援（シミュレーション等）を行い、これらをとおして2050年の脱炭素化以降もつづく持続可能な社会における環境建築の在り方について検討を行う。

研究キーワード

- 環境建築 ●ゼロカーボン ●カーボンニュートラル ●ZEB ●ZEH ●持続可能 ●サステナブル
- 建築環境 ●都市環境 ●地球環境 ●室内環境 ●エネルギー ●再生可能エネルギー
- 太陽光発電 ●パッシブデザイン ●建築環境シミュレーション ●実測調査

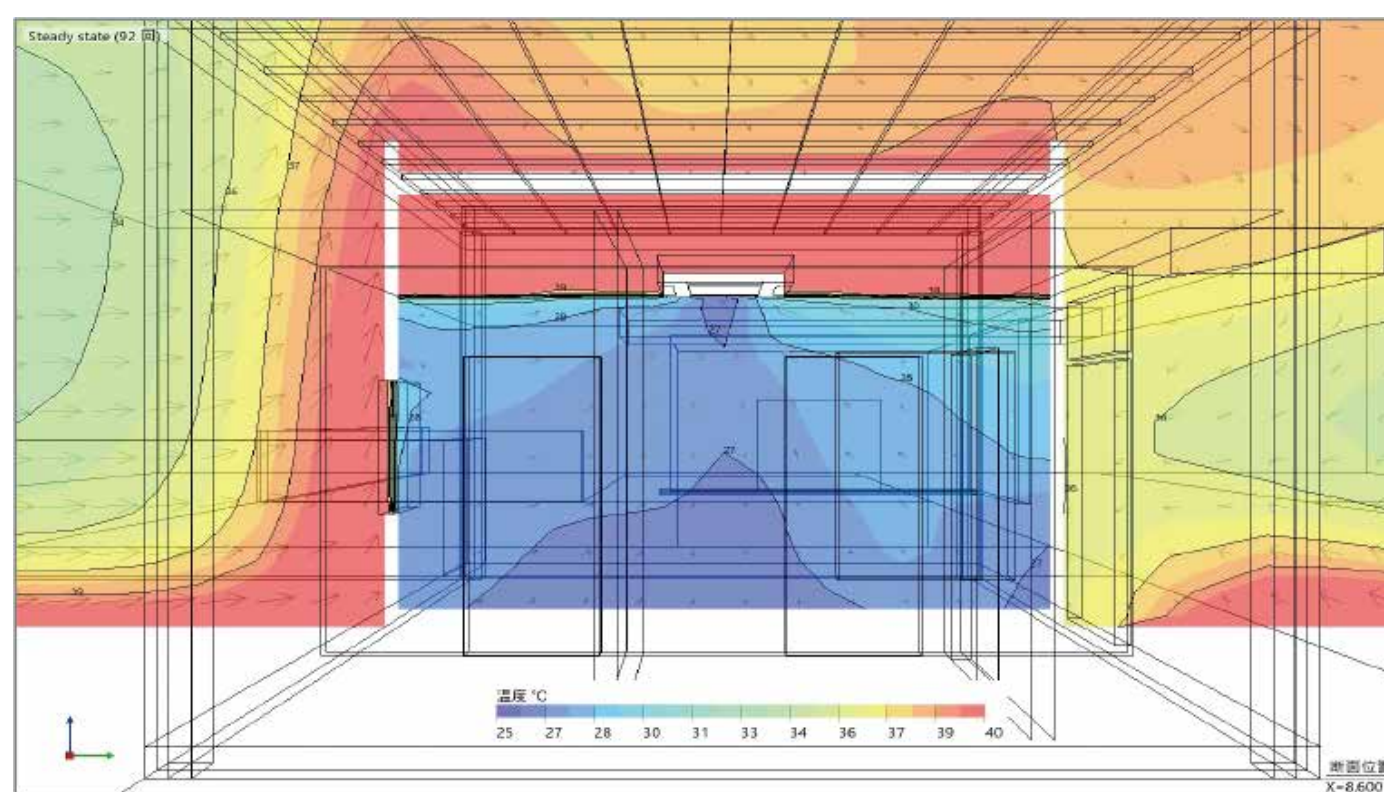
研究内容

本研究所では、建築物における2050年ゼロカーボン化に資する各種技術に関する研究を推進する。

- ゼロエネルギー建築・ゼロカーボン建築に関する社会動向の調査
- ゼロカーボン化に資する各種要素技術の整理
- ゼロカーボン・キャンパスの最新動向調査
（カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリションのゼロカーボン・キャンパスWGへの参画）
- 大学キャンパス内の各建物のエネルギー使用実態の調査
- その他の既存建築物におけるエネルギー使用実態、および室内環境性状の実態調査
- 各種要素技術の建築物実装のため設計技術支援（シミュレーション等）



大学建物の中央監視装置



室内環境のシミュレーション

二〇五〇年の脱炭素化に向けた
建築分野からの貢献

